

剣道少年団が準優勝

11月2日、森町で開催された「令和7年度森町近隣町少年剣道大会 兼 第10回森ライオンズカップ杯争奪剣道優勝大会」において、今金剣道少年団が中学生団体の部で見事準優勝を果たしました。

団体メンバーは、先鋒：小林喜平さん、次鋒：鈴木湊介さん、中堅：上野友太郎さん、副将：高野莉央さん、大将：白岩遼大さんの5名。

全10チームが出場する中で、チーム一丸となって戦い、堂々の準優勝に輝きました。特に中学3年生にとってはこの大会が最後となり、日頃の稽古の成果が表れた素晴らしい試合結果となりました。



檜山北高吹奏楽局が全国大会出場



11月4日、今金町役場にて、北海道檜山北高等学校吹奏楽局による「第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会」への出場報告が行われました。

吹奏楽局は、昨年に引き続き連続で全国大会への出場を果たし、町長へこれまでの活動の成果と大会への意気込みを報告しました。

全国大会は11月9日、東京都の「尚美パリオホール」で開催され、全国各地から選抜された小・中・高校生が集まり日頃の練習の成果を披露しました。吹奏楽局は見事な演奏を披露し、優秀賞と株式会社フォトライフが独自の視点から選考し選ぶフォトライフ賞を受賞しました。

今金産黒毛和牛の給食



10月24日、今金小学校、種川小学校、今金中学校、認定こども園いまかねにおいて、「今金産黒毛和牛を使った給食の日」が実施されました。この日使用された貴重な今金産黒毛和牛は、児童・生徒への食農教育や食育の推進を目的に、JA今金町をはじめとする多くの地域関係者の協力によって提供されました。

給食では、黒毛和牛を使用した特製牛丼が提供され、生徒たちは「おいしい!」と笑顔であつという間に完食。地元の恵みを味わいながら、食の大切さや生産者への感謝の気持ちを改めて感じる一日となりました。

全日本ホルスタイン共進会で入賞全国2位

10月25、26日に安平町で開催された全日本ホルスタイン共進会に、今金町からも菊地章太さんが出品されました。

第16回となる本大会は全国から選りすぐりのホルスタインが集まる畜産業の一大イベントで、安平町の北海道ホルスタイン共進会場には、期間中3万人を超える来場者が訪れ、大いに賑わいました。全国大会の熱気に包まれている中、菊地さんは丹精込めて育てた3頭の乳用牛を出品。そのうちの1頭が比較審査で見事、優等賞(全国2位)に輝き、日頃から牛に注がれた深い愛情と取り組みが大きな成果として結実しました。



今月の特集

行政情報

各種情報

まちの話題

情報かわら版

まちの行事予定

学びの道標へ

第44回今金支部兼近隣空手道選手権大会



11月9日、今金町総合体育館にて「第44回今金支部兼近隣空手道選手権大会」（主催：日本空手協会今金支部今金町空手道連盟）が開催されました。

大会には、幼児から65歳までの幅広い世代から102名が参加し、65歳の最年長選手と高校生選手による試合など、多彩な対戦が繰り広げられました。出場選手の皆さんは、日ごろの鍛錬の成果を存分に発揮し、会場は終始、熱気と活気につつまれていました。

ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日



11月19日、「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」が、町内の各小中学校及び認定こども園の給食時間にあわせて実施されました。この取り組みは、今金町の子ども達が生産者の苦労や栽培に込められた思いにふれ、「ふるさとの恵み」と「生産者への感謝の心」を育むことを目的としています。町内の生産者から無償で提供された食材は、素材本来の味わいを生かした調理法で給食として提供されました。

給食が始まる前に、各教室で食材を提供してくださった生産者の皆さんから、日頃どのような思いで作物づくりに向き合っているのか直接お話しいただく時間も設けられました。

バレーボール少年団が全道3位

11月4日、今金町役場にて、バレーボール少年団による表敬訪問がありました。これは、10月18日と19日に江別市民体育館で開催された江別市スポーツ財団主催の「ななかまど杯第31回北海道小学生バレーボール大会」の女子の部において、第3位の成績を収めたことによるものです。

この大会は、道央代表3チーム、道東代表4チーム、道北代表3チーム、道南代表2チームの計12チームが参加し、トーナメント戦で行われました。今金バレーボール少年団は、18日の予選をセット2-0で勝利し、19日の準々決勝もセット2-1で勝利。しかし、続く準決勝はセット0-2で敗退し、3位の成績となりました。



nincup「ハポの物語」

11月10日、今金高等養護学校にてnincup（ニンチュブ）によるアイヌ舞踊「ハポの物語」が上演され、生徒や一般町民を含む130名の来場者がありました。

アイヌの少女の成長を描いた物語を軸に、アイヌの伝統歌や舞踊、世界五大叙事詩ユカラなどを織り交ぜた舞台と、nincupメンバーによる幻想的なパフォーマンスが来場者を魅了しました。終幕時にはアンコールも行われ、秋のひとときを芸術と共に楽しむことができました。



国保病院からのお知らせ

休日や夜間に救急で病院を受診される際、マイナ「健康保険証」か「資格情報のお知らせ」または